

双方向動画配信システムを用いた危機管理にも対応する 地域密着型の情報提示手法と情報データの“見える化”に関する研究

理工学部 客員教授 川名 典人

Web会議サービスZoomを用いて、毎月1回ライブで地域に関わるテーマで「タウントーク」を12回実施しました。講演データは動画共有サイトに保存し、オンデマンドでいつでも視聴できるように地域連携センターのwebサイト内にタウントークページを構築しました。動画の収録→編集→保存→配信を一元化したことで、維持管理費が削減され、作業もシームレスで簡素化されました。現在この仕組みは公開講座や大学の「千歳学」等の授業でも利用されています。今後、地域課題プロジェクト等の取り組みで利用予定です。

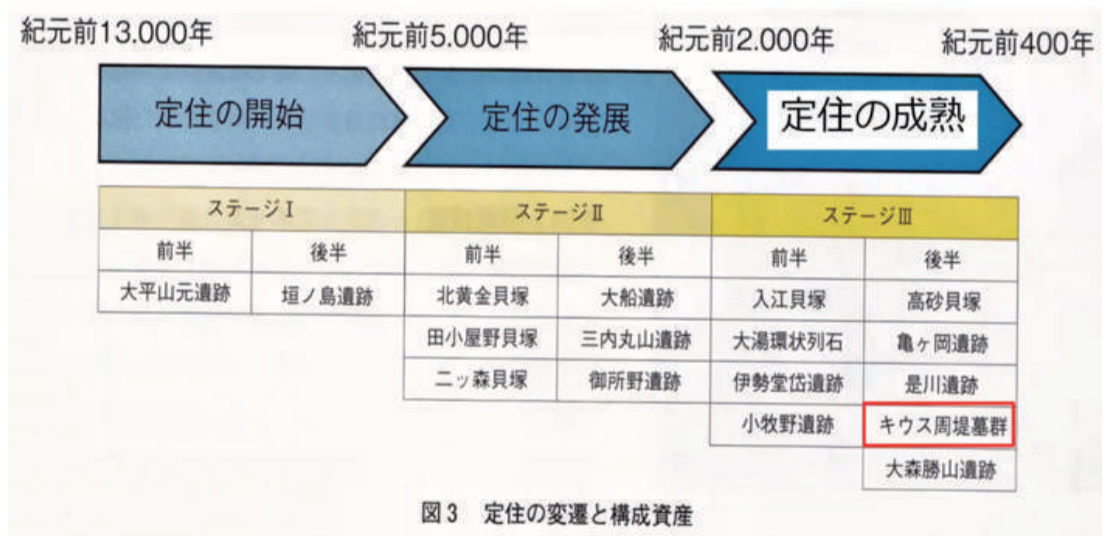
下記に第12回タウントークの詳細について紹介します。

第12回タウントークのご紹介～テーマ:キウス周堤墓群の価値と魅力をもっと知ろう!～

世界文化遺産登録に向けて精力的に活動し、登録後はキウスの価値や魅力についてメディアや講演等を通して積極的に発信している札幌国際大学縄文世界遺産研究室長の越田賢一郎氏がキウスの価値をマルチな視点で説明しました。北海道の森、海、そして雪が育む大自然が1万年以上続いた縄文時代の厳しい環境で定住型集落を縄文人に可能にさせ、そこで生まれた“先史文化や持続可能な社会形成からキウスという世界文化遺産が誕生した”という説明は、多くの視聴者のみなさんに縄文ロマンを感じていただけたことと思います。世界文化遺産に指定されたこの素晴らしい周堤墓群を今後どのように保全し、活用するかという点では、本学の曾我教授がARやVRのような最新テクノロジーを活用することの重要性を指摘しました。



配信画面



配信画面

●● もっと詳しく知る! ●●

QRコードを読み込むとより詳細な情報にアクセスできます

